

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 1日

事業所名 クオリティ・オブ・ライフ高宮支援教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		教室内の活動だけでなく、フットサルカリキュラムを実施する際は、専門のフットサルコートに向き、安全に身体を動かせるようにカリキュラムを実施しております。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		車いすが入れるスペースは十分あるが、ハード面では、玄関、トイレに段差があり手すりの設置などのバリアフリー化できておりません。今後受け入れる利用者状況に応じて検討してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		個別支援計画について、作成したままにするのではなく、保護者様にご説明させて頂いた後も、ICTシステムで目標の振り返りがいつでも閲覧できるようにしております。また職員でも現状把握、業務の見直しを図っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1度(2~3月頃)、事業所の自己評価、および保護者様による評価を実施させて頂いております。今回も貴重なご意見いただきましてありがとうございます。頂いたご意見を励みに、今後も様々な企画や改善に向けて取り組んでまいります。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ご覧いただきましてありがとうございます。今後も、クオリティオブライフ高宮支援教室のホームページにて、年1度の頻度で公表させて頂きますのでご覧いただければ幸いです。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は現在実施できておりません。代わりにFC本部による定期的な内部監査を実施しております。今後は第三者機関を選定していきながら実施できるようにしていきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		開所して間もないので、今年度は、FC本部主催の研修にいくつか参加させて頂きました。今後は行政や民間企業が実施している研修会に参加し、自己研鑽に努めてまいります。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		見学や体験にお越し頂いた際に、簡易なフェイスシートをご記入いただいております。また契約の前に無料体験等も実施できますので、お気軽にご連絡ください。保護者さまから頂いた情報とお子さまの教室での様子をしっかりとモニタリングさせて頂いたのち、お子様の気持ちに寄り添った適切な計画を作成させていただきます。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		様々な職種の視点で利用者様の行動や心理面を捉え支援の仕方、活動の進め方を検討しています。また、活動プログラムは日毎に担当の先生を決めて、チームで支援できるように工夫しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎日カリキュラムが固定化されないように、学校の時間割のように曜日ごとにカリキュラムを設定しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		土曜については、保護者さまやお子さまのご要望に沿った、カリキュラム等も実施しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを行い、支援内容や気になることの共有、カリキュラムの役割分担や目的など確認して、チームで支援できるようにミーティングを実施しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	○		送迎終了後に、一日の振り返りを職員間で共有しております。また時間の確保が難しい場合は、教室のLINEグループで申し送りをしたり、翌日の午前中に反省等を含めミーティングをするなど工夫しております。	
	17	○		当日の様子を個別支援計画書の課題と照らし合わせながら、毎日記録させて頂いております。ICTシステムで、支援終了後に保護者様もいつでもご覧いただけるようになっております。	
	18	○		半年に1回の頻度で実施しております。また必要に応じて、環境や心境に変化があった場合などは、適宜見直しをさせていただきます。	
	19	○			
関係機関や保護者との連携	20	○			
	21	○		基本的には、送迎時には学校の先生と情報共有させていただいたり、保護者さまを通して、学校の時間割や行事ごとの情報を頂いております。いつもご協力頂きましてありがとうございます。	
	22		○		現在、医療的ケアが必要な児童の利用はありません。今後利用していく際は協力医療機関だけでなく、主治医との連携にも努めてまいります。
	23	○		新1年生の受け入れについては随時行っております。相談員さまとの連携はもちろん、保護者様からのご要望に合わせて、保育園や幼稚園との情報共有も実施させていただきますので、お気軽にご相談ください。	
	24		○		現在、卒業を迎えたお子さまはおりません。今後必要に応じて進路先の施設との連携に努めてまいります。
	25		○		現在、児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携は必要とするケースがないため、しておりません。連携するケースや連携が必要なお子さまが来た際は連携に努めてまいります。また主催の研修会については積極的に参加していきたいと思っております。
	26		○		現在交流はできておりません。今後は地域のイベントなどにダンスの発表などを通して参加し、地域の方々とも交流がしていけるように考えています。
	27		○		教室開所後、間もないため、自立支援協議会への参加はできておりません。コロナの影響で開催頻度が少なくなっていると聞いているので、再開された際は、積極的に参加したいと思っております。
	28	○		事業所の固定電話だけでなく、営業時間外でも緊急に対応できるよう、教室専用の携帯電話を用意しております。また、半年1度必ず面談を実施しておりますが、保護者様のご要望にあわせて随時面談はできますので、お気軽にご相談ください。	
	29	○			
保護者への説明責任等	30	○		契約時に、契約書及び重要事項説明書を用いて、ご説明させて頂いております。また教室にお越しの際は、玄関に運営規定や契約書類等の重要事項がいつでも閲覧できるように掲示させて頂いておりますのでご覧ください。契約後のご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。	
	31	○		保護者様のご要望に応じて家庭にお邪魔し、ご自宅の様子に関するご相談等も行わせていただきました。	
	32		○		今年度は父母の会としての開催はできておりませんが、開所時の見学会・内覧会などに、既存の保護者様もご参加頂くことができました。次年度は、父母の会や事業所参観などの開催を検討しておりますのでお楽しみにお待ちしております。
	33	○		管理者と協議し、速やかに対応しております。また情報等に関しましては職員間で共有する機会を設け再発防止に努めております。	
	34	○		毎月利用登録システムにて活動内容を記載し情報発信をしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報に記載されている書類については鍵付きの書庫に保管しております。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚優位なお子様が多いので、個人専用のスケジュールボードを作成して、活動が理解しやすいよう配慮したり工夫しております。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ予防の為、地域住民の方の交流は現在難しい状況であります。事業所見学会や内覧会はどなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越しください。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		FC本部と連携して「虐待防止・身体拘束委員会」「緊急時(非常災害・衛生・不審者等)対策委員会」「カリキュラム委員会」を設置し、毎年マニュアルの見直しや研修を行っております。	保護者様への周知、訓練については十分でない為改善に努めます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練は通常年2回の頻度で実施させて頂いております。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		今年度は、虐待防止・身体拘束に関する研修としてFC本部で主催した虐待防止・身体拘束に関する研修会の動画を視聴し、全職員が虐待防止に関する知識を深めました。来年度は、FC本部の委員会と連携して意見交換会の合同開催や、社外で実施している研修会にも積極的に参加していきたいと思っております。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		高宮支援教室ではおやつを提供させていただいております。アレルギーがある場合には、提供の中身を変更させていただきますので、事前にご相談ください。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		起きた場合その日に記入し反省と改善に取り組んでいます。	